

東北森林管理局と森林整備センター東北北海道整備局の若手職員を対象とした研究紹介を実施

令和7年3月18日

森林研究・整備機構の研究・育種業務への理解促進や、事業実施機関との連携強化を目的に、東北森林管理局と森林整備センター東北北海道整備局の若手職員を対象とした森林総合研究所東北支所と東北育種場の業務紹介を令和7年2月12日（水）に、森林総合研究所東北支所で実施しました。この取り組みは令和4年度からはじまり、東北支所と東北育種場を交互に場所を変えて実施しており今回で3回目を迎えました。

東北育種場からは場長より「東北育種場の概要」、育種課長より「東北育種場の研究概要」を説明し、東北支所からは産学官民連携推進調整監より「東北支所の概要」、地域研究監より「東北支所の研究概要」について説明を行いました。



東北育種場長による東北育種場の概要説明



育種課長による研究概要の説明



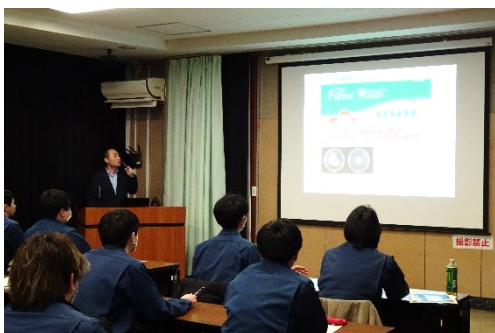
産学官民連携推進調整監による東北支所の概要説明



地域研究監による東北支所の研究概要の説明

概要説明後、東北支所の3名の研究員を講師として、現在取り組んでいる研究の紹介を行いました。説明後3つの班を作り、説明を行った講師を交え興味を持った研究内容について

質疑応答を行いました。



東北支所の研究員による研究紹介



研究員との質疑応答

最後に、東北支所の研究施設を見学し業務紹介を終了しました。東北森林管理局や森林整備センターの若手職員に対し、森林研究・整備機構が取り組んでいる研究や育種事業について、理解が得られたのではないかと思います。



研究施設で行っている研究概要の説明



(東北育種場)